

バンコク・ドゥシット・メディカル・サービス(BDMSn) タイの医療ツーリズムによる外国人患者数増に加え、タイ地方も 健康保険の普及が見込まれ、成長継続期待。

タイ | ヘルスケア施設 | 業績フォロー

BLOOMBERG BDMS:TB | REUTERS BDMS.BK

- 2018/12 期 4Q (10-12 月) は、営業収益が前年同期比 6.5% 増の 199.61 億 THB、純利益が同 33.7% 減の 13.50 億 THB だったが、一時費用を除いたベースのコア利益では同 2.1% 増の 20.77 億 THB。
- 10 のハブ病院優良センター化と外国人患者数増により患者一人当たり診療価格が上昇。UAE、カンボジア、中国からの増加が目立った。
- タイ地方での健康保険普及見込みやタイの医療ツーリズムが外国人にとって魅力的であり続けていることから更なる成長を期待。

What is the news ?

2/28 発表の 2018/12 期 4Q (10-12 月) は、営業収益が前年同期比 6.5% 増の 199.61 億 THB、EBITDA が同 8.6% 減の 35.62 億 THB、純利益が同 33.7% 減の 13.50 億 THB。営業収益増は、10 のハブ病院の優良センター化と外国からの患者数の増加により患者一人当たり診療単価が上昇し、子会社の A.N.B ラボラトリー社とメディックファーマ社の商品販売収入が増加したことが貢献した。EBITADA 減少は管理費用増が響いた。純利益減は 2019/12 期 1Q に計上するラムカムヘーン・ホスピタル・パブリック社株式売却益に関する一時費用計上によるもので、一時費用を除いたベースのコア利益では同 2.1% 増の 20.77 億 THB である。

事業別の概況は以下の通り。病院事業の営業収益は、前年同期比 5.9% 増の 188.53 億 THB。外国人患者からの営業収益は同 8% 増となり全体の 30% を占めたが、UAE が同 48% 増、カンボジアが同 26% 増、中国が同 14% 増。商品販売事業は、営業収益が同 9.7% 増の 8.06 億 THB。その他の営業収益は、投資不動産の公正価値変動利益と賃貸収入増により、同 47.3% 増の 3.02 億 THB。医者とクリニックスタッフの報酬増、医薬品と医療用品の費用増による病院費用増、およびマーケティング費用増や国際的な医療機能評価機関 (JCI) とローカル基準に則った品質と医療水準を維持するためのメンテナンス費用増による管理費用増を吸収して、コア利益は増益となった。

How do we view this ?

2019/12 通期市場予想は、営業収益が前期比 6.2% 増の 832.86 億 THB、当期利益が同 25.1% 増の 114.95 億 THB である。同社はタイのヘルスケア業界に係る長期見通しについて、地方の高齢化と所得増を背景に健康・長寿への関心が高まり、健康保険が拡大すると見ている。海外からのヘルスケア需要もタイの医療ツーリズムが外国人に魅力的であることから成長を続けると見ている。中国、カンボジア・ラオス・ミャンマー・ベトナム、中東、海外居住タイ人市場は潜在的な成長市場である。これらを背景に、同社は予防ケアサービスに注力する方針である。同社は鍵となる戦略的な優先施策として、資産活用効率性の向上、運営効率性の改善、優良センター化 (10 のハブ病院)、持続可能な開発を挙げている。

業績推移

※参考レート 1THB=3.46円

事業年度	2016/12	2017/12	2018/12	2019/12F	2020/12F
売上高(百万THB)	67,904	71,933	78,417	83,286	90,619
当期利益(百万THB)	8,387	10,216	9,192	11,454	12,713
EPS(THB)	0.54	0.66	0.59	0.76	0.81
PER (倍)	45.37	37.12	41.53	32.24	30.25
BPS(THB)	3.60	4.07	4.49	5.07	5.44
PBR (倍)	6.81	6.02	5.46	4.83	4.50
配当(THB)	0.29	0.36	0.35	0.43	0.45
配当利回り (%)	1.18	1.47	1.43	1.76	1.84

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

フィリップ証券株式会社

配当予想(THB) **0.43** (予想はBloomberg)
終値(THB) **24.50** 2019/3/22

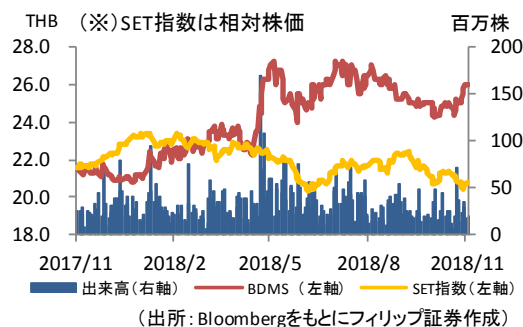
会社概要

1969年に診療所として設立。売上高、時価総額でタイの民間病院運営会社で最大。私立病院では売上高で世界トップ5に入る。タイ国内で43院、カンボジアに2院の病院を運営する。タイ国内初の民間心臓病院(バンコク心臓病院)や民間がん病院(ワタノス病院)、小児病院(サミティベート小児病院)を開設するなど、タイ医療のパイオニアである。病院ネットワークはバンコク病院、サミティベート病院、ロイヤルバンコク病院、BNH病院、パータイ病院、パオロ病院の6つの病院グループから構成されている。

医療サービスの質に定評があり、全45病院のうち26の病院および臨床プログラムが、ジョイント・コミッション・インターナショナル(JCI)の認定を受けている。様々な分野で留学経験のある質の高い医師や看護師を揃え、国内外の患者に最新の医療技術に裏付けられた治療を提供している。医療水準やサービスの質を維持するために、新たにネットワークに加わる病院は設備や人材、サポートシステムなどで基準を満たす必要がある。

企業データ(2019/3/25)

ベータ値	0.50
時価総額(百万THB)	380,756
企業価値=EV(百万THB)	417,973
3ヵ月平均売買代金(百万THB)	1,453.4



主要株主(2019/3)

1.Prasarttong-Osoth Prasert	18.47
2.Stock Exchange of Thailand Co Ltd	6.54
3.Viriyah Insurance Co Ltd	6.05

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

笹木 和弘
kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980
増淵 透吾
togo.masubuchi@phillip.co.jp
+81 3 3666 0707

2019年3月25日

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>